E　診察・診断と治療技能

適切な歯科医療を提供するために、頭頸部領域の症候・病態から適切な診察・検査を選択して診断を行い、治療計画を立案したうえで安全・安心な治療を実践できる基本的臨床技能を身に付ける。

E-1　診療の基本

信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、救急処置法を身に付けるとともに、患者安全対策に配慮した医療を実践し、処置時には適切な疼痛管理(除痛法)を実践する。

E-1-1　患者安全対策、感染予防策

歯科診療を実施するために必要な患者安全・感染対策についての知識、技能及び態度を身に付ける。

学修目標：

E-1-1-1	患者安全対策(標準予防策(SP)、感染予防、医療機器の操作、放射線の誤曝等を含む)を実施できる。	(Ⅰa)
E-1-1-2	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。	(Ⅰa)
E-1-1-3	適切な個人用防護具(PPE)を選択して着用できる。	(Ⅰa)
E-1-1-4	清潔に配慮した操作ができる。	(Ⅰa)
E-1-1-5	医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。	(Ⅰa)
E-1-1-6	針刺し切創対策を実施できる。	
E-1-1-7	インシデント報告書(放射線の誤曝を含む)を作成できる。	(Ⅰb)
E-1-1-8	薬剤耐性(AMR)に配慮した適切な抗菌薬の選択ができる。	(Ⅱ)

E-1-2　救急処置

救急処置の基本を身に付ける。

学修目標：

E-1-2-1	意識状態を確認し、評価できる。	
E-1-2-2	一次救命処置(BLS)を実演できる。	(Ⅰb)

E-1-3　麻酔・除痛法

歯科治療を実施するために必要な疼痛管理と局所麻酔法を身に付ける。

学修目標：

E-1-3-1	局所麻酔(表面麻酔・浸潤麻酔)を実施できる。	(Ⅰa)
E-1-3-2	精神鎮静法の介助ができる。	(Ⅱ)
E-1-3-3	薬物療法による疼痛管理ができる。	

E-2　基本的診察・診断技能

臨床において患者から症状や異常を聴取し、適切な診察や検査を選択して診断できる技能を身に付ける。

E-2-1　初診時の医療面接

良好な医師ー患者関係を構築するためにコミュニケーションの重要性を理解し、医療面接に必要な知識、技能及び態度を身に付ける。

E-2-1-1　一般成人の医療面接

学修目標：

E-2-1-1-1	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。	
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	（Ⅰa）
E-2-1-1-3	患者情報を収集、分析できる。	（Ⅱ）
E-2-1-1-4	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を聴取できる。	（Ⅰa）
E-2-1-1-5	患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。	（Ⅰa）
E-2-1-1-6	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。	（Ⅰa）
E-2-1-1-7	患者のプライバシーに配慮できる。	（Ⅰa）
E-2-1-1-8	聴取した患者情報を指導歯科医に報告できる。	（Ⅰa）

E-2-1-2　小児やその他特別な配慮を要する患者の医療面接

学修目標：

E-2-1-2-1	小児の医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	（Ⅰa）
E-2-1-2-2	小児患者への一般的対応(言語的・非言語的コミュニケーション、代用語の使用)を実施できる。	（Ⅰa）
E-2-1-2-3	障害者及びその家族や介護者に対する医療面接を通して患者情報を聴取できる。	（Ⅱ）

E-2-2　口腔、顎顔面領域の診察・検査

口腔、顔面領域の疾患を診断するために必要な診察と検査に関する知識、技能及び態度を身に付ける。

学修目標：

E-2-2-1	患者情報から必要な診察、検査を選択できる。	（Ⅰa）
E-2-2-2	頭頸部の状態の診察(視診、触診　　等)が実施できる。	（Ⅰa）
E-2-2-3	口腔内及び歯の診察・検査(視診、触診、打診、温度診、歯髄　　電気診、透照診(Ⅰa)、齲蝕リスク検査(Ⅰb)、レーザー蛍光強度測定(Ⅱ))を実施できる。	
E-2-2-4	歯・歯列・咬合の診察を実施できる。	（Ⅰa）
E-2-2-5	歯周組織検査(歯の動揺度検査、歯周ポケット検査、プロービング時の検査、根分岐部病変検査、プラーク検査)を実施できる。	（Ⅰa）
E-2-2-6	口腔機能検査(下顎運動検査、顎関節、筋機能検査、咀嚼機能検査、唾液及び唾液腺検査、嚥下機能検査、発音及び構音検査、鼻咽腔閉鎖機能検査、感覚(味覚、体性感覚)の検査、舌圧検査)を実施できる。	（Ⅱ）
E-2-2-7	精密触覚機能検査を実施できる。	（Ⅱ）

E-2-3　全身の診察と検査による全身状態の把握

全身状態を把握するために必要な診察と検査法を身に付ける。

学修目標：

E-2-3-1	口腔と医科疾患との関連について理解している。	
E-2-3-2	バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸、体温、経皮的動脈血酸素飽和度)を測定し、評価できる。	（Ⅰa）
E-2-3-3	患者の全身状態及び服用薬剤を聴取できる。	（Ⅰa）

E-2-3-4　全身状態を評価し、顎顔面及び口腔内の診察ができる。（Ⅰa）
E-2-3-5　小児の身体の発育状態(Kaup 指数、Rohrer 指数)、運動機能(歩行等)、生理的数値(体温、脈拍数、呼吸数、血圧)、皮膚・手指・爪を評価できる。（Ⅱ）
E-2-3-6　病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解している。
E-2-3-7　血液学検査(血球、凝固・線溶・血小板機能)、生化学検査、免疫血清学検査、生体機能検査、栄養学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。（Ⅰa）

E-2-4　医科歯科連携

医科歯科連携の必要性と歯科医師のかかわり方を理解し、診療情報提供書の作成法を身に付ける。

学修目標：

E-2-4-1　医科歯科連携に応じた診療情報提供書の下書きを作成できる。（Ⅰb）

E-2-5　画像検査を用いた診断

放射線検査の必要性と人体に対する影響を患者に説明した上で検査を実施し、画像を読影する能力を身に付ける。

学修目標：

E-2-5-1　診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し、実施できる。
E-2-5-2　口内法エックス線検査、パノラマエックス線検査の必要性を患者に説明し、その撮影ができる。（Ⅰa）
E-2-5-3　CT 及び MRI の必要性を患者に説明し、撮影の指示ができる。
E-2-5-4　口内法エックス線検査又はパノラマエックス線検査で得た画像を読影できる。（Ⅰa）

E-2-6　病理組織検査を用いた診断

病理組織検査(組織診、細胞診等)を理解する能力を身に付ける。

学修目標：

E-2-6-1　病理組織検査(組織診、細胞診等)の依頼書と報告書の内容を解釈できる。（Ⅱ）

E-3　症候・病態からの臨床推論

口腔・顎顔面領域の主な症候・病態から原因疾患を鑑別診断できる基本的能力を身に付ける。

E-3-1　基本的診断

症候・病態から疾患を導き出す思考過程を身に付ける。

学修目標：

E-3-1-1　聴取した疾患の症状から必要な身体診察(口腔・顎顔面及び全身)を選択、実施してその所見から症候・病態を明確にできる。
E-3-1-2　主要な症候・病態から原因と病態生理を推論し、想定すべき鑑別疾患名を説明できる。
E-3-1-3　鑑別診断のための各種検査を選択、実施して、病態生理学的あるいは疫学的に確率を高めることができる。

E-3-2　臨床推論

口腔・顎顔面領域の主な症候から病態生理学的に発症原因を推論し、分類、鑑別診断できる基本的能力を身に付ける。

学修目標：

E-3-2-1　主要な症候(表 2)について原因と病態生理を理解している。

E-3-2-2　主要な症候(表 2)について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。

E-3-2-3　臨床実習の現場で主訴から診断推論を組み立てられる。

E-3-2-4　臨床実習の現場における疾患の病態や疫学を理解している。

E-4　診療記録の整理と治療計画立案

患者から得られた医療情報の取り扱いを理解し、得られた情報を基にする患者中心の治療計画の立案法を身に付ける。

E-4-1　診療記録の作成

患者から得られた医療情報を標準的な形式に従って記録し、処方箋、技工指示書を適切に作成できる。

学修目標：

E-4-1-1　問題志向型診療記録(POMR)で診療録の下書きを作成できる。（Ｉb)

E-4-1-2　処方箋の下書きを作成できる。（Ｉb)

E-4-1-3　技工指示書の下書きを作成できる。（Ｉb)

E-4-2　診断と治療計画

一口腔単位の歯科治療を行うために患者情報を収集・分析、診断して、治療計画を立案するための知識、技能及び態度を身に付ける。

学修目標：

E-4-2-1　患者の健康上の問題を収集、整理して治療方針と治療の優先順位を決定できる。（Ｉa)

E-4-2-2　疾患に対する治療方針に加えて患者の背景や希望を考慮して総合治療計画を立案できる。（Ｉa)

E-4-3　インフォームド・コンセント

臨床実習を通して患者中心の医療を実施し、歯科医師として必要な医の倫理、患者の権利についての知識、態度を身に付ける。

学修目標：

E-4-3-1　診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。（Ｉa)

E-4-3-2　インフォームド・コンセント及びインフォームド・アセントを得ることができる。（Ｉb)

E-4-3-3　患者の訴え、また指導歯科医からの指摘事項も参考に、治療結果を適正に評価できる。（Ｉa)

E-4-3-4　疫学と根拠に基づいた医療(EBM)と Narrative-Based Medicine(NBM)に基づいた患者中心の医療を実施できる。

E-5　基本的治療手技

安全・安心な歯科医療を提供するために、基本的治療技能を身に付ける。

E-5-1　共通事項

安全に歯科診療を実施するための環境整備ができる。

学修目標：

E-5-1-1	治療内容に応じて必要な器材の準備、片付けができる。	(Ⅰa)
E-5-1-2	患者及び術者の適切な診療ポジションをとることができる。	(Ⅰa)

E-5-2　歯科保健指導

歯科疾患の予防と口腔衛生管理を実施する。

学修目標：

E-5-2-1	口腔の健康状態やリスクの有無を評価し、対象者に説明できる。	(Ⅰa)
E-5-2-2	口腔衛生指導を実施できる。	(Ⅰa)
E-5-2-3	PMTC を実施できる。	(Ⅰa)
E-5-2-4	食育指導を実施できる。	(Ⅰb)
E-5-2-5	生活習慣の指導ができる。	(Ⅰb)
E-5-2-6	禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔癌等の予防を実施できる。	(Ⅰb)
E-5-2-7	ライフステージに応じた栄養について指導できる。	(Ⅰb)
E-5-2-8	スポーツにおける歯と口腔周囲の健康管理や安全対策が実施できる。	

E-5-3　高頻度治療

高頻度で遭遇する歯と歯周組織に生じる疾患の治療を実施できる。

E-5-3-1　齲蝕、その他の歯の硬組織疾患の治療

学修目標：

E-5-3-1-1	コンポジットレジン修復(単純窩洞)ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-1-2	コンポジットレジン修復(複雑窩洞)ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-1-3	グラスアイオノマーセメント修復ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-1-4	メタルインレー修復ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-1-5	コンポジットレジンインレー修復ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-1-6	補修修復ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-1-7	象牙質知覚過敏症に対する処置ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-1-8	修復後の術後管理ができる。	(Ⅰa)

E-5-3-2　歯髄及び根尖性歯周疾患の治療

学修目標：

E-5-3-2-1	感染根管治療(単根歯)ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-2-2	感染根管治療(複根歯)ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-2-3	直接覆髄法と間接覆髄法ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-2-4	暫間的間接覆髄法ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-2-5	歯髄鎮痛消炎療法ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-2-6	抜髄(単根歯)ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-2-7	歯髄及び根尖性歯周疾患治療後の経過を観察できる。	

E-5-3-3　歯周疾患の治療

学修目標：

E-5-3-3-1	歯周基本治療としてプラークコントロール指導ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-3-2	歯周基本治療としてスケーリングができる。	(Ⅰa)
E-5-3-3-3	歯周基本治療としてスケーリング・ルートプレーニングができる。	(Ⅰa)
E-5-3-3-4	歯周基本治療として咬合調整ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-3-5	歯周基本治療として簡単な暫間固定ができる。	(Ⅰb)
E-5-3-3-6	歯周治療後のサポーティブペリオドンタルセラピー(SPT)及びメインテナンスができる。	(Ⅰa)

E-5-3-4　歯質と歯の欠損の治療

歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療を実施できる。

E-5-3-4-1　固定性補綴装置(クラウンブリッジ)による治療

学修目標：

E-5-3-4-1-1	固定性補綴治療に必要な情報を収集し、それに基づく治療計画の立案と装置の設計が実施できる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-2	支台築造ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-3	支台歯形成ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-4	固定性補綴装置の精密印象採得ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-5	固定性補綴装置の咬合採得ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-6	固定性補綴装置の色調選択(シェードテイキング)ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-7	プロビジョナルレストレーションができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-8	固定性補綴装置装着と患者指導ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-1-9	固定性補綴装置の術後管理ができる。	(Ⅰa)

E-5-3-4-2　可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)による治療

学修目標：

E-5-3-4-2-1	可撤性補綴治療に必要な情報を収集し、治療計画の立案と装置の設計(サベイングを含む)が実施できる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-2	可撤性義歯による補綴治療の前処置ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-3	可撤性義歯の概形印象採得と研究用模型製作ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-4	可撤性義歯の精密印象採得と作業用模型製作ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-5	可撤性義歯の咬合採得と人工歯選択ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-6	作業用模型の平均値咬合器への装着ができる。	
E-5-3-4-2-7	可撤性義歯の装着と患者指導ができる。	(Ⅰa)
E-5-3-4-2-8	可撤性義歯装着後の経過観察ができる。	(Ⅰa)

E-5-3-5　口腔外科の基本的治療

小手術の基本的技能を身に付ける。

学修目標：

E-5-3-5-1	永久歯の単純抜歯を実施できる。	(Ⅰa)
E-5-3-5-2	小膿瘍の切開ができる。	(Ⅰb)

E-5-3-5-3　基本的な縫合を実施できる。（Ⅰb）
E-5-3-5-4　基本的な抜糸を実施できる。（Ⅰa）

E-5-4　不正咬合患者の診察、検査、診断
不正咬合を診断するために必要な診察と検査に関する技能を身に付ける。
学修目標：
E-5-4-1　模型及び頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。（Ⅰb）
E-5-4-2　矯正歯科治療における口腔衛生指導を実施できる。（Ⅰa）

E-5-5　小児の歯科治療
小児の口腔疾患に対する予防と治療法を実施できる。
学修目標：
E-5-5-1　小児及び保護者へのプラークコントロールを行うために、適切な口腔衛生指導を実施できる。（Ⅰa）
E-5-5-2　小児及び保護者へのブラッシング指導を実施できる。（Ⅰa）
E-5-5-3　小児に対する PMTC を実施できる。（Ⅰa）
E-5-5-4　年齢別の食事指導・間食指導の内容を評価できる。（Ⅰb）
E-5-5-5　フッ化物歯面塗布を実施できる。（Ⅰa）
E-5-5-6　予防填塞を実施できる。（Ⅰb）
E-5-5-7　小児患者への対応として行動変容法及び抑制法を実施できる。

E-5-6　高齢者の歯科治療
高齢者の身体的、精神的及び心理的特徴に留意して診療を実施できる。
学修目標：
E-5-6-1　移乗の介助ができる。（Ⅱ）
E-5-6-2　高齢者の口腔衛生管理の用具の基本的な取り扱いを実施できる。
E-5-6-3　高齢者に対する口腔衛生管理ができる。
E-5-6-4　摂食嚥下障害のスクリーニング検査を実施できる。（Ⅰb）
E-5-6-5　高齢者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
E-5-6-6　認知症患者の歯科治療を経験する。（Ⅱ）

E-5-7　障害児・者の歯科治療
障害児・者の身体的、精神的及び心理的特徴に留意して診療を実施できる。
学修目標：
E-5-7-1　障害児・者の口腔衛生管理の用具の基本的な取り扱いを実施できる。
E-5-7-2　障害児・者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。

E-6　多職種連携、チーム医療、地域医療
医療チームの一員として地域医療に参画する。

E-6-1　歯科専門職間の連携と多職種連携、チーム医療
チーム医療に参画する。

学修目標：

E-6-1-1　歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士と他職種(医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、言語聴覚士、その他の関連職種並びに介護職)によるチーム医療を経験する。（Ⅱ）

E-6-1-2　病診連携、病病連携を経験する。（Ⅱ）

E-6-2　地域医療

歯科診療所内だけでなく、地域における保健、医療、介護に参画する。

学修目標：

E-6-2-1　訪問診療に必要な器材の操作を実施できる。（Ⅰb）

E-6-2-2　訪問診療を経験する。（Ⅱ）

E-6-2-3　地域包括ケアシステムを経験する。（Ⅱ）